

清藤大輔医師による「介護医学」連続講座

東京 総合ケアセンター駒場苑 (2階)
 (東京都目黒区大橋 2-19-1)
 ☆京王井の頭線「駒場東大前」駅西口より徒歩5分

講師
 ・清藤大輔
きよふじ だいすけ



医師/介護老人保健施設・志木瑞穂の里施設長
 1994年、熊本大学医学部卒。仙台市での在宅ホスピス勤務医を経て、2003年より11年間、老健施設の施設医を務める。2014年より志木瑞穂の里副施設長、2015年より同施設、施設長に就任。

2018年5月13日(日)からスタート!!
 連続講座(全4回)
 時間 10:30 ~ 16:00 (各回共通)

第①回 5/13(日)	急変時の介護医学Ⅰ 【急変時とは】 急変の4タイプ/慢性疾患の急性増悪/急変のリスク因子/急変時の対応の切れない関係/事故防止の3つのレベル 【異常の早期発見と早期対応】 若者と高齢者の観察方法の違い/早く気付くためのコツ/救急車が来るまでにやっておくこと 【急変時のサインと緊急性の高い症状】 急な体調変化・ADL低下/便の色の異常/バイタルサインのパニック値/意識レベルの低下/けがと骨折 【症状から読み取れる見逃せない病気】 脱水はあらゆる病気を真似する/発熱/むくみ/意識障害とせん妄/動悸/息切れ/けいれん/意識消失/誤嚥
第②回 6/3(日)	急変時の介護医学Ⅱ 【急変時の症状別対応】 高熱/誤嚥・窒息/呼吸困難/意識障害とせん妄/けいれん/てんかん/意識消失/吐血・下血/骨折/火傷/鼻血/低血糖発作 【2つ以上の症状の危険な組み合わせ】 ①意識レベルの低下+呼吸器症状、むくみ、息切れ、尿量の異常、冷や汗、血圧低下/②頭痛+嘔吐、38度以上の発熱+脈90以上、③尿量の排便+意識障害 【慢性疾患の管理とアセスメント】 脳血管障害/糖尿病/パーキンソン症候群と神経難病/呼吸器疾患/循環器疾患/腎不全 【実習】応急手当 AED/昏睡体位/心肺蘇生のイロハ
第③回 7/22(日)	安全な薬物療法の介護医学 【薬物療法の9原則】 診断/服用歴/投与量/薬剤数(5種類以下にする)/血中濃度/服用法/服薬状況/老年症候群を引き起こす薬 【抗精神病薬、下剤は認知症ケアで減らせる】 認知力低下・錯乱/うつ状態/転倒/起立性低血圧/薬を減らすケア/入院を減らす/自然排便+口腔ケア 【薬の副作用と薬物療法の実際】 誤嚥性肺炎、便秘、下痢、嘔吐、頻尿・尿失禁の予防/糖尿病治療の工夫/認知症治療の工夫 【すべての新規症状は薬物有害事象を疑え】 副作用と薬物有害事象/副作用の見抜き方/避けるべき薬のリスト/多剤併用の弊害/薬は5種類まで
第④回 8/12(日)	認知症・看取りケアの介護医学 【認知症の原因を理解する】 認知症は症状の名前/認知症の定義/認知症の診断の進め方/認知症の「原因」は脳だけではない 【BPSDの原因と治し方】 きっかけのタイプ[タイプ判定とタイプ別ケア]/認知症ケアの7原則/疾患別のBPSD対応/抗認知症薬と向精神薬 【亡くなるプロセスを支える】 人の死の5類型/終末期リハビリ/ターミナルの判定をどうするか/衰えていくときに見られる症状と対応/看取りのチームケア 【平穏死の考え方と実際】 口から食べられなくなったらどうするか/胃瘻をするか、しないか/終末期の点滴をするか、しないか

*受講票はお送りしません。満員でお断りする場合のみご連絡申し上げます。
 *連続で受講される方は、初回に受講料をいただきます。
 その際、パスポートを発行しますので、2回目以降、忘れずにご持参ください。
 *当日はスリッパをご持参ください。

受講料 *当日会場 で承ります	1回 6,000円
前半(①②)・後半(③④)	各 11,000円
4回通し(①②③④)	20,000円

主催 **なるほどケア塾** お問い合わせ
 〒189-0011 東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 ㈱円窓社内
 ☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

Fax : 042-306-3772

<参加者名> *施設の場合は施設名もご記入ください。	① 5/13 ()名	前半 ()名	4回通し ()名
	② 6/3 ()名	① ()名	
	③ 7/22 ()名	後半 ()名	
	④ 8/12 ()名	③ ()名	
<住所>〒 (自宅・職場)			
<TEL>			
	<FAX>		